No. 413　令和8年3月31日

おおたこうれん

発行所
東京都大田区南蒲田1－20－20
電話(3737)0797・FAX(3737)0799
一般社団法人大田工業連合会
発行人会長　広瀬安宏
E-mail：office@ootakoren.com
ホームページ：https://ootakoren.com
印刷所
東京都大田区大森西4－6－13
電話（3766）1711
株式会社　気生堂印刷所

2025年度 第2回「ロボットプログラミング」教室開催
ロボットを使ってプログラミングに挑戦！

大田工業連合会と大田区産業経済部産業振興課は2月15日、京急空港線天空橋駅直結の羽田イノベーションシティPiO PARKで「ロボットプログラミング教室」を開催した。オーストラリアのマイクロブリック社が発売する教育用プログラミングカー「Contempo viewsエジソンロボットV3」を使い、ロボットプログラミングの基礎を学ぶ内容で、講師は株式会社ビートランスの原田洋一社長が務めた。教室は午前と午後に行われ、小学3年から中学1年生まで合計29名が参加した。

エジソンのボディを上から見ると、一片が婉曲した四角形という食パンのようなデザイン。本体後部にタイヤが二つ付いている。原田先生は「人間の体も色々な物事を検知するが、エジソンにも4つのセンサーが付いている」と説明。エジソンには赤外線センサーや、光センサー、音センサーが搭載されており、プログラムに従い前進、回転、後進が可能だ。5分ほど操作しないでいると、自動で電源が切れる省エネルギー仕様になっている。「家で充電する時は専用のケーブルを使って充電して下さい」と、エジソンの基本仕様を説明した。

原田先生と子供たち

次は会場の後方に設置した実験スペースに移動し、エジソンを実際に動かしてみた。エジソンは赤外線LEDで対象に光を当て、その跳ね返りを赤外線センサーで検知する。それを使うことで、黒い線に沿って動いたり、方向を変えたりするなどの駆動が可能となっている。さらに赤外線センサーを使ってテレビのリモコンで操作ができたり、手を叩く音に反応して動きを変えたりできる。原田先生の説明を聞いた子供たちは、自分のエジソンを持ち、実験スペースや床の上で、思い思いにエジソンを動かした。

実験スペースには黒く太い線を書いた白い紙があり、エジソンは黒い線に沿って動く。また、音にも反応するためパチパチと手を叩いたり、テレビのリモコンを使い、複数台のエジソンを一緒に動かす子供もいた。黒い線で描かれた土俵の中では、複数台のエジソンが相撲のようにぶつかり合いを繰り広げた。

エジソンで相撲

一通り駆動方法を学ぶと、最後は、エジソンのプログラムを学んだ。子供たちは、ブロックのようにビジュアルイメージ化されたプログラムをiPadで入力し、エジソンにプログラムを転送。その後実験スペースのS字型のテストコースで、エジソンを走らせた。

しかし、最初はなかなか上手くいかない。直進する時間（距離）、旋回するタイミングが重要だ。子供たちはテストコースの近くで実験と再プログラミングを繰り返す事で、次々にコースを走破していった。

小学5年生の佐野晄成さんは、「もともとロボット教室に通っており、興味があって参加した。エジソンのプログラムは最後の直線のところが難しかった。また参加したい」と語った。小学3年生の中村美晴さんは「プログラムは未経験だったけれど、興味があって参加した。走らせるだけでなく、エジソンで音楽を鳴らせたりして面白かった」と笑顔で語った。

S字コースの走破を目指し挑戦

【大田区優工場 新製品・新技術コンクール】

受賞・認定された企業をご紹介します。
皆様、おめでとうございます。

令和7年度
大田区優工場 受賞・認定企業

《総合部門賞》
- 広沢電機工業株式会社
- 株式会社三美テックス

《まちに優しい部門賞》
- 広沢電機工業株式会社

《人に優しい部門賞》
- 株式会社三美テックス

《審査員特別賞》
- 電化皮膜工業株式会社

《認定工場》
- 大肯精密株式会社
- 株式会社グーテンベルク
- 有限会社里中精機 第4工場
- 三和打抜工業株式会社
- 信和パーツ株式会社
- 株式会社北海鉄工所
- 株式会社渡辺精機

※広沢電機工業株式会社と株式会社三美テックスは、2賞のダブル受賞になります。

第37回
大田区中小企業 新製品・新技術コンクール 入賞製品・技術

《最優秀賞》
- らーめん缶（醤油らーめん／ピリ辛味噌らーめん）（株式会社丸山製麺）

《優秀賞》
- タタメルバイク（株式会社 ICOMA）
- 上肢用揺動訓練装置「ハンドジグリング」（Shisei Medical 株式会社）

《奨励賞》
- 超音波モータ用2軸位置制御コントローラ「PSMC-RP1」（株式会社 Piezo Sonic）
- PC 遠隔操作溶接ロボットシステム「WELDEMOTO」（株式会社ロボットテクニカルセンター）
- ノックアウト差込み式（クイックロック）樹脂製ケーブルグランドコネクタ型式「E2BGQ」（株式会社三桂製作所）
- 「おてがる水産®」無換水魚介類飼育システム（株式会社ウィズアクア）
- プレスショットカウンター「PSC-07MTL」（株式会社コスモネット）
- やさしい風のイオナイザ「M1」（フィーサ株式会社）

VEGETABLE OIL INK
この印刷製品は、環境に配慮した資材と工場で製造されています。 GREEN PRINTING JFPI P-810214
古紙パルプ配合の再生紙を使用

テクニカルショウヨコハマ２０２６

青年部、過去最多の12社が共同出展

来場者で賑わう青年部ブース

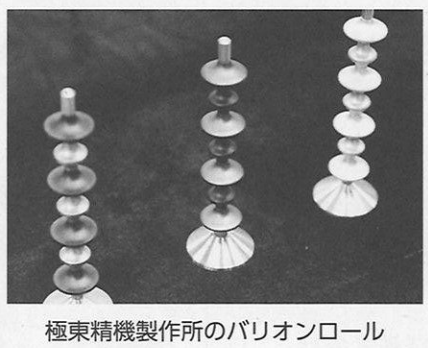
大田工業連合会青年部連絡協議会の有志12社は、2月4日から6日まで横浜市のパシフィコ横浜で開かれた「テクニカルショウヨコハマ２０２６（第47回工業技術見本市）」に共同出展した。出展企業は（同）Eメタル、（株）エポゾール、（株）極東精機製作所、（株）志村精機製作所、弘機商会、（株）泰信製作所、（有）中央製作所、トキワ精機（株）、（株）西居製作所、（株）松浦製作所、（株）吉原製作所、（株）渡辺精機で、過去最多となる12社。事前に、展示会で役立つ接客セミナーを受講したメンバーが、大田区から多摩川を渡り、横浜で自社の技術・製品をＰＲ。バイク部品などを加工する泰信製作所の林田由加里社長は「神奈川の製造業に、大田区の加工技術をＰＲしたい」と意気込んだ。

今回の初出展はEメタル、中央製作所、トキワ精機、西居製作所、吉原製作所の5社。

Eメタルは、ステンレス加工品を展示した。同社は手のひらよりも小さい、丸物の加工が得意。大手カメラメーカーの試作のほか、医療や自動車関係の部品も製造。図面がなくとも現物から３Ｄデータを起こし加工できるのも特徴だ。同社の緑川玲子代表は「大森工場協会からの誘いがあり初出展した。当社は企業だけでなく個人からの製作も請け負っている。横浜で新たなお客さんに出会えたら」と期待を述べた。

中央製作所、永岡 修平工場長

中央製作所は、樹脂切削のサンプル品を展示。永岡修平工場長は「当社は１０００以上の量産が得意。新しいお客さんも開拓していきたい」と出展の狙いを語った。


極東精機製作所のバリオンロール

Eメタル、緑川 玲子代表社員

吉原製作所の吉原 保取締役

西居製作所は、同社が得意とする小物、薄物のプレス加工サンプルを展示。20ミクロンという極薄の材料や、表面が光沢している鏡面材を、傷つけずに加工できる技術を持つ。光学部品や情報家電の部品、自動車部品などを日本とタイの二拠点で製造。西居徳和社長は「今回の出展をタイ工場の仕事につなげたい」と話した。

フットワークの軽さと対応力に自信あり、と胸を張るのは吉原製作所の吉原保取締役。ＮＣ旋盤による試作品など小ロット品を得意とする、と来場者に説明した。

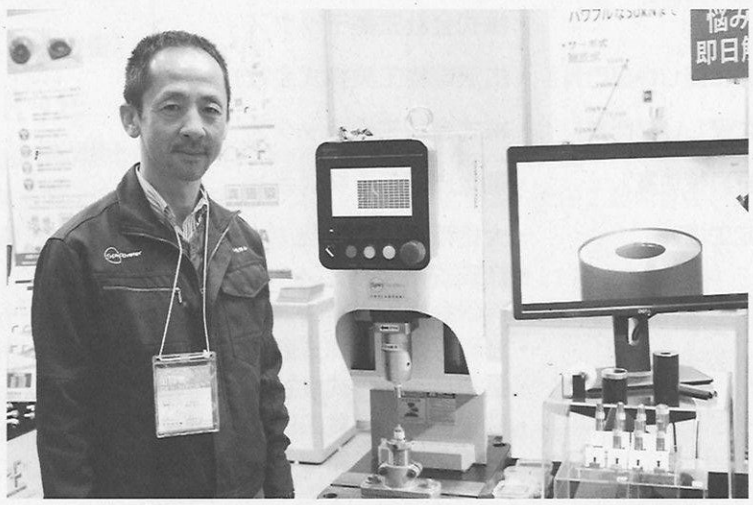
トキワ精機は自社製品の配管継手「まるみ君」を、テーブルに立体的に配置しＰＲした。

極東精機製作所は、自社製品である美容機器「フェイススポインター」のほか、昨年11月に発売したマッサージ器具「バリオンロール」を出展した。

弘機商会は自社商品であるスピン式のカシメ装置を並べた。一般的なプレス式のカシメ機に比べ、８分の１の少ない力でカシメるのが特徴で、内視鏡の先端部分の製造など医療分野で使われている。高原隆一社長は「昨年この展示会に出て受注に繋がった。この展示会と当社は相性が良い」と期待を語った。

志村精機製作所は、同社の強みである超精密加工品を並べた。虫眼鏡で拡大しないと見えない日本刀などを紹介し、技術力をアピールした。

エポゾールは、軟質樹脂に金型を浸してプラスチック部品を作るディップ成型を「柔らかい樹脂成形」として説明。松浦製作所は薄物など精密加工品のほか、自社で開発中の腕時計などを展示。渡辺精機は高精度加工したサンプル品を紹介し、来場者の注目を集めた。



弘機商会の高原 隆一社長

《新春講演会・賀詞交歓会》
「風船会計」で社員のやる気を引き出す

三団体賀詞交歓会風景

2026年1月、大田工業連合会が関連する新年賀詞交歓会が開催された。1月9日に当会、東京商工会議所大田支部、大田区商店街連合会による賀詞交歓会が、16日に当会に所属する4団体（蒲田工業協会および経営研究会、大森工場協会およびYMクラブ、工和会協同組合および工和成年会、蒲田工業協同組合および木鶏会）による新春講演会・賀詞交歓会が開かれた。会場はどちらも、JR蒲田駅近くの大田区民ホール・アプリコ。

製造業を中心とした大田区の企業経営者が集まり、杯を交わして新年を祝った。

1月9日17時から開かれた新年賀詞交歓会では、最初に大田区商店街連合会の相川英昭会長が開会の辞を述べ、続いて東京商工会議所大田支部の浅井隆会長（㈱浅井会長）、東京商工会議所の野本弘文副会頭（東急㈱会長）、鈴木隆之大田区議会議長、衆議院議員の平将明氏、同松原仁氏が登壇。鈴木区長は「昨年は新空港線（蒲蒲線）の事業認可をいただいた。蒲田東西のまちづくりのみならず、東急沿線、京急沿線のまちづくりへとつなげる。2026年は区政80周年。馬のような駆けぬける勢いで確かな成果を出していきたい」と決意を述べた。

東京商工会議所大田支部の佐山行宏副会長の乾杯で祝宴が始まると、会場のあちこちで談笑の花が咲いた。

中締め挨拶は、当会の広瀬安宏会長。「今年は厳しい年になるのではと予想している。しかし、我々はバブル崩壊など危機を乗り越えてきた。みんなと手を携え、技術と経験を駆使して乗り越えていきたい」と語り、宴席を締めた。

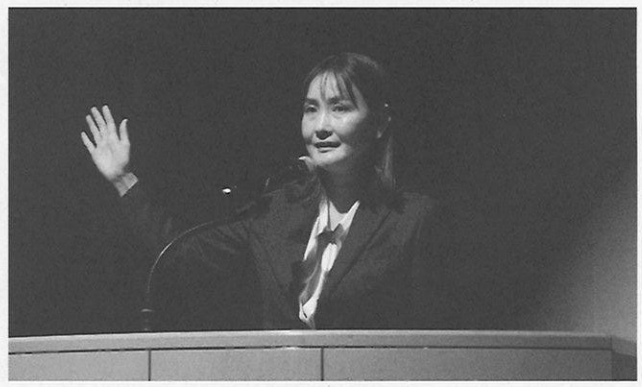
1月16日の新春講演会では講師として松本興産㈱取締役でスターコンパス社長の松本めぐみ氏を招いた。演題は「変化の時代を勝ち抜く！〝稼げる見える化経営〟―現場力と人材を育てる風船会計®―」。

半導体メーカーのエンジニア出身の松本氏は、事業を営む夫と結婚したことで、松本興産に入社する。秩父の山奥にある自動車部品メーカーの松本興産は、従業員280名、グループ売上高45億円という中堅企業ながらも、「5年前まで派閥争いがひどく、社内は殺伐としていた」（松本先生）という。経営は管理職を批判し、管理職は現場を批判し、現場は経営を批判する。ウィルスのように他責思考が蔓延していくなか、当時の正社員60人のうち30人が一斉に退職してしまった。新型コロナ禍も重なり、松本興産は赤字に転落してしまう。

会社を建て直すには、経営から管理職、現場まで、みんなの目線を合わせる必要がある。特に会計の考え方を現場に理解させることが重要と考えたが、数字の羅列

鈴木区長

広瀬会長


講演する松本先生

であるお金に興味を持たせるのは一筋縄ではいかない。そこで松本先生が取り入れたのが、会計をビジュアル化して理解させることだった。

貸借対照表は「豚の貯金箱」に例えた。左側の資産には、現金や株式などの流動資産（現金化しやすい資産）のほか、土地や工場、機械などの固定資産（現金化しにくい資産）が含まれている。この2つの資産状況を立ち上がった豚の貯金箱として表現した。流動資産が大きければ胸板が厚く、固定資産が大きければ下半身太りといった具合に。

損益計算書は、風船と重りに例えた。風船は売上高。売り上げが上がれば大きくなり、下がれば小さくなる。重りは外注費や材料費など売上高に応じて増減する変動費で、風船の中に入っている。さらに風船はチューブで気球に繋がっており、風船が大きくなれば中のガス（利益）が、チューブを通って気球に移動すると表現した。気球は、人件費や家賃など売上高の増減によって変動しない固定費を意味する。風船から流れ込む利益が気球の中に満ちると、企業は浮上する（儲かる）と説明した。

風船会計を使い、社員一人一人が利益の重要性を心底理解したことで、社員の行動が改善。経費を大事に使う、在庫を持ちすぎないなど、それぞれの現場で利益を最大化するための取り組みが始まった。それにより松本興産の業績は改善。2022年は売上高25億円で、2・5億円の赤字だったが、2024年には売上高33億円、営業利益1・4億円と黒字化に成功した。2025年は売上高31億円で減収となったが、営業利益1・5億円と増益となった。

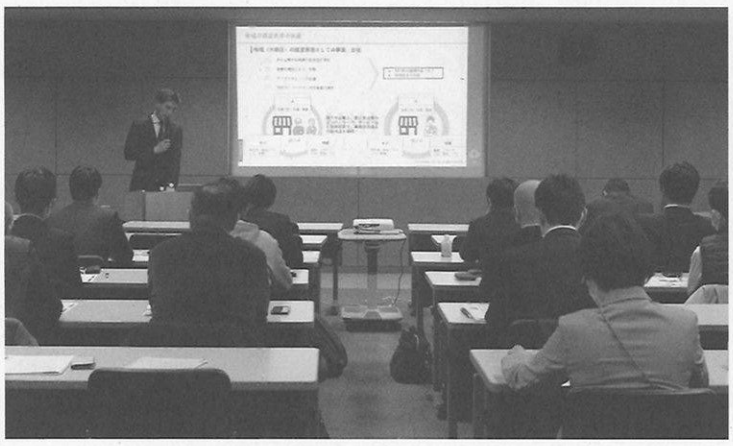
その後に開かれた賀詞交歓会では、参加者は松本先生と積極的に名刺交換し風船会計について質問していた。風船会計を取り入れる企業が増えれば、2026年の大田区経済は、雲より高く浮上するに違いない。

新年の門出を祝う参加者たち

大田工連青年部 事業拡大に役立つ地域M&Aを学ぶ

大田工業連合会青年部連絡協議会は2月20日、大田区産業プラザPiO2階の会議室で、令和7年度講演会を開催した。テーマは中小企業のM&A（合併・買収）の実例で、タイトルは「大田区の経営者が知っておきたいM&Aの極意。～あの時こうしておけば・・・～」。講師は（株）サクシード、専務取締役の市川優氏が務めた。

講演会の開始にあたり、委員長である奥山隆行（日新電気株式会社社長）が挨拶。「M&Aに関するセールスの手紙や電話は日々届き、辟易とする時もある。しかしM&Aは中小企業にとって事業規模の拡大、多角化に必須なツールだと思う。しっかりと学び、仕事に役立てていきたい」と語った。


セミナー風景

奥山委員長

市川先生は業界の現状を説明。「経営者はいつから承継を考えれば良いのかと聞かれますが、これは自分が社長になった次の日から考えるのが正解です。社長しかできない業務や判断をなくしていくことは、会社を強くすることにもつながります」

「M&Aで大事なのは税金問題ですが、普段お付き合いのある税理士に頼むのはお勧めしません。一生に一回のことであり、M&Aのプロにお願いするのが良いと思います」

さらに市川先生は、M&Aには会社全体を譲る『株式譲渡』と一部の事業を譲る『事業譲渡』の二種類があること、M&Aの事業価値の算定方法は相続税と異なることなどを説明。自らの経験を交え、トップは交渉の場にふさわしい格好で臨むこと、決断は相手への礼儀として早くするべきということ、M&Aをした後は、売り手側の会社の従業員を安心させるため、それまでの3倍の頻度・密度で接することなどをレクチャーした。

最後はM&Aの具体事例が紹介された。売り手企業が債務超過だったが、技術者が15人いることを評価され買収に至ったケース、事業のシナジーを目指した布団クリーニング業とおしぼりクリーニング会社のM&A、後継ぎのいないそば屋を承継した会社員の例など、事例は多岐にわたった。

講義後は京急蒲田の春香園で懇親会を開催。講師を交え酒杯を酌み交わし、講義の感想を口々に語り合った。

市川先生

大田工業連合会 2026（R8）年度スケジュール

4月 ■はじめての機械系基礎訓練
4月14日（火）、21日（火）、28日（火）（毎火曜日3日間）9：15～16：30
5月 ■新入社員セミナー
5月13日（水）、14日（木）、15日（金）（平日3日間） 9：30～16：30
■やさしい図面の見方講座【1回目】（城南職業能力開発センター大田校開催）
5月13日（水）、20日（水）（毎水曜日2日間） 9：15～16：30
★理事会　5月下旬 開催
6月 ★大田工連 第67回定時総会　6月4日（木） 18：30～
7月 ■CAD製図【初級】講座（Auto CAD2024）　7月7日(火)、14日(火)、21日(火)
毎火曜日3日間 9：15～16：30
■【第1回】産業のまち発見隊「親子工場見学会」　7月24日(金) 9：30～16：30
8月 ■【第2回】産業のまち発見隊「親子工場見学会」　8月25日(火) 9：30～16：30
■夏休みロボット教室　8月29日（土）、30日（日）（2日間） 10：00～16：00
10月 ■CAD製図【中級】講座（Auto CAD2025）
10月3日（土）、10日（土）、17日（土）（毎土曜日3日間） 9：15～16：30
■秋のロボットセミナー 10月中開催予定
★理事会10月下旬開催
★優良従業員表彰10月1日
11月 ■実践汎用旋盤・フライス盤講座【1回目】
11月11日（水）、18日（水）、25日（水）（毎水曜日3日間） 9：15～16：30
■新入社員セミナーフォローアップ研修　11月13日(金) 13：00～17：00
■ロボットプログラミング教室 11月15日(日) 開催予定 10：00～16：00

2027 R9年

1月 ■3団体（※）賀詞交歓会　1月中旬開催予定 17：00～19：00
（※）東京商工会議所大田支部・大田区商店街連合会・大田工業連合会
■実践汎用旋盤・フライス盤講座【2回目】
2月6日（土）、13日（土）、20日（土）・毎土曜日3日間 9：15～16：30
2月 ■やさしい図面の見方講座【2回目】2月中旬開催予定18：30～21：30（全5日間）
（日本工学院での開催）
■経営者育成・会計セミナー2月～3月中開催予定
3月 ※その他セミナーについては、日程が決まり次第ご案内させて頂きます。